

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2002-129462 (P2002-129462A)
 【公開日】平成 14 年 5 月 9 日 (2002.5.9)
 【出願番号】特願 2000-318788 (P2000-318788)
 【国際特許分類】

D 0 5 C 9/06 (2006.01)

D 0 5 B 21/00 (2006.01)

D 0 5 B 39/00 (2006.01)

【F I】

D 0 5 C 9/06

D 0 5 B 21/00

D 0 5 B 39/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 10 日 (2007.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

Y 方向駆動機構 8 4 の Y 方向の駆動力は、連結部材 9 7 を介して駆動枠 8 1 の中空状の基部 8 6 に伝達される。そして、基部 8 6 内に設けられた X 方向駆動機構 8 5 に連結された駆動枠 8 1 の枠部 8 7 を介して縫製枠 8 2 の後端部 8 2 a に伝達され、縫製枠 8 2 が Y 方向に駆動される。同様に X 方向駆動機構 8 5 の X 方向の駆動は、駆動枠 8 1 の枠部 8 7 を介して縫製枠 8 2 の後端部 8 2 a に伝達され、縫製枠 8 2 が X 方向に駆動される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

そして、上フレーム 3 の下面に間隔を置いて配設された Y 方向（ミシンの前後方向）に延びる左右一対の Y 方向駆動機構 1 5 と、Y 方向駆動機構 1 5 と縫製枠 1 0 とに相対的にかつ直接設けられた長尺部材と係合部材とで構成された左右一対の X 方向駆動機構 1 6 とを備えている。ここで、長尺部材と係合部材とは相対的に移動可能に係合されている。そして、長尺部材は縫製枠 1 0 の後端部 1 0 a に直接取り付けられ、係合部材は Y 方向駆動機構 1 5 に直接取り付けられる。